

牛乳を通して、食の未来へ  
牛からのメッセージを伝える

## 広瀬牧場 十勝農楽校

代表 廣瀬文彦さん  
住所 帯広市西23条南6丁目13  
URL <http://www.uemons.com/>  
連絡先 電話:0155-33-6064  
E-mail [uemons@uemons.com](mailto:uemons@uemons.com)



牛のことなら  
なんでも聞いてね

- 受入可能人数 数名～100名前後
- 受入時期 通年
- 所要時間 1時間～1日(要相談)
- 体験料 メニューによって変わります  
(お問い合わせください)

### 体験内容

- 酪農…牛という生き物についての講義、酪農用具の紹介、乳牛の見学、ブラッシング、搾乳、アイスクリーム作り など

### 提供している食育の分野

- 食べ物と心や体の関係を知る
- 体によい食べ物を選ぶ知識を身につける
- 食べ物の大切さを知り、自然の恵みに感謝する
- 食べ物の作られる過程などを理解する
- 食を通して環境について考える

### 廣瀬文彦さん

1948(昭和23)年から続く牧場の2代目として約150頭の牛を飼育。酪農教育ファーム北海道推進委員会委員長。アイスクリームショップ「ウエモンズハート」で自家製の乳加工品も提供する。



### \* 農業体験モデル例 \*

#### 小学校5・6年生

- 実施日 2011年12月28日(水)
- 体験参加者 児童14名  
教員4名
- 受入れ者 牧場スタッフ3名
- 所要時間 10:00～11:30

#### 事前に行うこと

- 学校側に見学や体験の目的を聞き、提供できる体験プログラムと、スケジュールの組み立て
- 教室で事前学習を行い、目的意識を持っていることが望ましい

#### 実施内容

10:00

集合し、あいさつ

10:10

牛について  
スクリーンやパネルを  
使いながら解説

10:30

牛舎前に移動し  
実際に牛や  
周辺の環境を  
感じてもらいながら  
見学・解説

10:40

ミルクングバーラー  
(搾乳専用施設)へ移動し  
一人ずつ搾乳体験  
体験用に牛を1頭用意し  
牧場スタッフがサポート

## 活動の特徴 1

### 酪農家という仕事への理解を深める

広瀬牧場では、1991年から体験学習の場として学校等を受け入れてきました。消費者に酪農家の仕事が知られていないこと、そして牛という生き物への理解が乏しいことに気づいた廣瀬文彦さんが自主的に始めたその活動が、現在の酪農教育ファームへつながっています。

牛乳が作られるまでの過程で、牛はどのような一生を送り、酪農とは何をする仕事なのか。それを知ってもらうことが、牛乳の本当の価値を伝えることになると廣瀬さんは考えています。工場で牛乳として製品化される背後には牛のいのちがあり、酪農は牛のいのちと日々対話する職業であることを、生徒や教員が実感できるような体験が行われています。



最初に説明用のスクリーンを使い、牛のからだのしくみなどを説明



牛舎の前で目を閉じると静かなことに気付く。鳴かないのは満足している証拠

## 活動の特徴 2

### 本当の価値を知って、選択する力をつける

体験では、音、匂い、味といった五感を使って感じることを大切にしています。牛の前で目を閉じ、耳を澄ませてみて初めて気づくことや、牧場の匂いの中に大事な情報が含まれていることなど、廣瀬さん自身が酪農の仕事で重要視する“観察”の一端を知ることができます。

牛乳は母牛が子牛のために出す大切ないのちを育むものです。やがて子どもたちが自分で食を選ぶようになったとき、ただ食べることを考えて選択するのではなく、食に込められた価値を知って選択できることの大切さを、牛乳を通して伝えたいという廣瀬さんの思いがあります。それは日本の酪農、そして農業全体の未来に関わる重要な視点でもあります。



大きな牛の前に、乳しぼりもおっかなびっくり



アイスクリームを作るときは、男の子たちも真剣



自分たちで作ったアイスクリームの味は格別

なっとく！  
食育！

#### 体験に訪れていた、帯広市内の小学校教員から

教室ではなかなか体験させることができない音や匂いなど視覚以外の五感に訴えられるところが魅力的だと思います。廣瀬さんのお話も、そのときの子どもたちの雰囲気や状況に合わせていて、子どもの心をつかむのがとても上手。教師に向いているかも(笑)。本当に伝えたいことを、子どもたちもちゃんと受け取っている様子を見て感動しました。

#### 受入れ側が用意するもの

講義用スクリーン、パネル、除菌液、アイスクリーム作りの道具など

#### 体験者が用意するもの(服装・持ち物など)

持ち物等は、基本的には特になし(体験内容により要打合せ)

point!

#### ときには“先生の先生”になる!

廣瀬さんは、教育関係者向けの研修会に招かれ、酪農教育ファームとして実践していることを話す機会も多くあります。酪農をどうとらえ学習に生かすのか、教員にとっての課題を解決する手がかりとなっています。



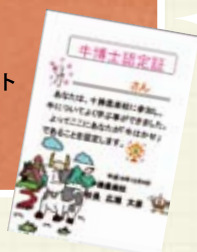
小・中学校教員向けに行われた研修会

11:00

牧場内に併設のアイスクリームショップへ移動し4つのグループに分かれアイスクリーム作りと試食

11:30

集合し、終了のあいさつ  
牧場から「牛博士」の  
証明書を全員にプレゼント



#### 児童の感想から

- 「牛は4という数字が好き」など、説明がおもしろかった。
- 乳しぼりのとき、乳が手にかかったらあつたかくてびっくりした。勢いもすごかった。
- 牧場の人がしぼったら、すごく早くてかよかった。
- 初めて牛に触った。楽しかった。